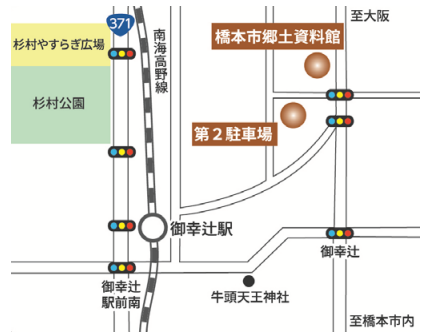


～利用のご案内～

- ▶ **場所** 橋谷1番地の1
- ▶ **開館時間** 9:00～17:00
(入館は16:30まで)
- ▶ **入館料** 無料
※特別展示室は、観覧料が必要となる場合があります。
- ▶ **アクセス**
 - 電車：南海高野線 御幸辻駅
下車→徒歩約10分
 - 車：駐車場（無料）
台数に限りがあります



- ▶ **休館日**
 - 月曜日・祝日の翌日
(上記の日が、土・日、祝日の場合は、開館)
 - 年末年始
(12月29日～1月3日)

※詳しくは、ホームページ(右のQRコード)をご確認ください。



- ▶ **問合せ**
 - 生涯学習課 ☎33-3704
 - 郷土資料館 ☎25-5150
(4月から)

おが 陸のみち

橋本市内で見つかった考古資料からわかる他地域との交流の形跡を展示しています。また古代に整備された都と四国を結ぶ道から橋本にもたらされた文化や、中世の武士団についても紹介しています。



祈りのみち

高野参詣道と伊勢(大和)街道が交わる橋本市は、各地からの参詣者でにぎわい、橋本からも多くの人が伊勢や四国へ参りました。また葛城修験の修行の場が残されており、修験者が人々の生活に深く関わっていたことを紹介しています。



川のみち

「橋本」の地名は、応其上人が紀の川に橋を架けたという言い伝えに由来しています。また大畑才蔵は紀の川を水源とする小田井用水の建設に着手し、農業の発展に貢献しました。紀の川が橋本にもたらした恵みについて、展示しています。



人々の暮らし

橋本の人々は道を介して交流を重ねることで、生活を発展させてきました。街道沿いのまち場の暮らしや、まち場以外に住む人々の生業、また今に受け継がれている祭りや年中行事について紹介しています。



新しい郷土資料館で 橋本の歴史を見つけよう！

橋本市は高野参詣道と伊勢(大和)街道が交差するなど、交通(みち)の要衝として発展してきました。その歴史を、「陸」「祈り」「川」の3つの「みち」をテーマとして展示するとともに、この地で営まれた「人々の暮らし」について紹介しています。貴重な文化財を間近に見ていただけるだけでなく、映像やクイズなどを用い、より興味を持っていただける展示となるよう工夫をしています。



クイズコーナーも！？

昔使われていた道具のクイズです。全問正解できるかな？！



【国宝】人物画像鏡(複製品)

隅田八幡神社が所蔵する国宝です。日本の歴史における非常に貴重な資料です。



みさぎやまこふん 陵山古墳の石室を再現

展示室の入口は、まっ赤っか！冒険心がくすぐられ、入口からワクワク！！

橋本市の文化財を 未来へ

文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、守り伝えられた国民的財産です。新しい資料館は、文化財を展示するだけでなく、収集、保管などを行い、後世へ伝える役割も担っています。
館内では、展示物に触れないなどマナーを守り見学してください。

新しい資料館にぜひ お越しくささい

今後は、特定のテーマを設けた特別展示や企画展示、歴史にまつわる講演会や、さまざまな講座などを展開する予定です。橋本市に豊かな歴史と文化があることを知っていただき、ふるさとへの誇りや愛着につながることを願っています。
新しい資料館が、学びを通じた交流の場として、皆さんにご活用いただければ幸いです。